

# 香〈アルツ〉

D0116

ウランバートル/モンゴル

## モンゴル—草原のかおりをたのしむ

### 参照資料

『暮らしがわかるアジア読本—モンゴル』  
p.52、p.55、p.223

『草原の遊牧文明』  
p.66



бойбор



артц

а р ц

a 香炉〈ボィボル〉 b 香（ねず松の芽）〈アルツ〉

香入れに灰を入れ、その上に香をおいて火をつけます。

アルツは、ハイマツの一種で、寺院では毎日燃やします。ゲル内でも清めに使われます。また、オヴォー祭や各種儀礼のときにもアルツを燃やして清めが行われます。